

平成25年度 十日町市・中魚沼郡 国語部会 活動報告

部長 梅田 勝

1 研究主題

児童が意欲的に参加できる授業づくり

2 研究の概要

県の最重要課題である確かな学力の育成のために、日々の授業改善が求められている。今年度は、「授業で学ぶ」ことを重点に3回の授業研究会を実施した。3回とも郡市の小中学校の国語部員に参加を呼び掛け、授業研究会における小学校の教師と中学校の教師との連携を図った。また、講演会や国語部員による情報交換も実施した。

3 研究の実際

- 8月23日 グループ別情報交換・講演会 会場：十日町小学校
「楽しく力のつく国語の授業～5つの原則とその使い方～」
講師：上越教育大学 特任准教授 中野英康 様
- 9月11日 授業研究会 会場：奴奈川小学校
5・6年：パネルディスカッションをしよう
授業者：佐藤 勝吉教諭
指導者：十日町市教育センター嘱託指導主事 鈴木 道 様
- 10月 9日 授業研究会 会場：津南中等教育学校
1年：感じたことを文章にしよう 鑑賞文を書く
授業者：吉樂 均教諭
指導者：十日町市立松之山中学校長 山本 修 様
- 11月 5日 授業研究会 会場：倉俣小学校
1年：できごとをおもいうかべよう～はじめは「や！」～
授業者：小堺 香織教諭
指導者：十日町市教育センター嘱託指導主事 鈴木 道 様

4 成果と課題

- (1) 「授業で学ぶ」ことを重視し、小学校2、中学校1の授業研究会を実施した。小・中の教師が一つの授業を参観し、協議することで、児童生徒理解や指導法についての小中連携が図られた。
- (2) 講演では、上越教育大学中野特任准教授から、日々の国語授業に実際に活用できる具体的な指導方法、原則をご指導いただき、有益であった。
- (3) 全部員による情報交換及びレポート交流を実施した。自身の実践を振り返り、交流することで、児童生徒理解や指導方法について参考となる点が交流できた。
- (4) 全国学力・学習状況調査の郡市の結果によると、「国語の授業への関心・意欲が高い」一方、「様々な文章を学習する機会が少ない」「本に触れる機会が少ない」という課題が明らかになった。子どもたちの言語生活を充実したものにする授業、国語教育の取組が必要である。